

お知らせ

本州四国連絡橋への次世代低位置道路照明の点灯運用の開始について

JB 本四高速は、お客様の走行支援、照明器具落下リスク低減や維持管理の効率化を目指し、カーボンニュートラルにも大きく貢献する「橋梁用広スパン低位置道路照明」を開発しました。

2025 年度内の整備完了を目指して、現在、本州四国連絡橋へ整備を進めております。

今後、新尾道大橋、大鳴門橋、明石海峡大橋から順次、点灯運用が開始しますが、工事期間中、従来のポール式照明と橋梁用広スパン低位置道路照明の点灯運用が混在します。

本州四国連絡橋の低位置道路照明の点灯開始の予定は【別添資料①点灯開始の予定時期】をご覧ください。但し、工事状況等により点灯開始の予定時期は変更となる可能性があります。

ご通行の際にはご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

なお、「橋梁用広スパン低位置道路照明」の詳細については【別添資料②パンフレット】をご覧ください。



橋梁用広スパン低位置道路照明の設置状況(新尾道大橋)



既設ポール照明の点灯イメージ



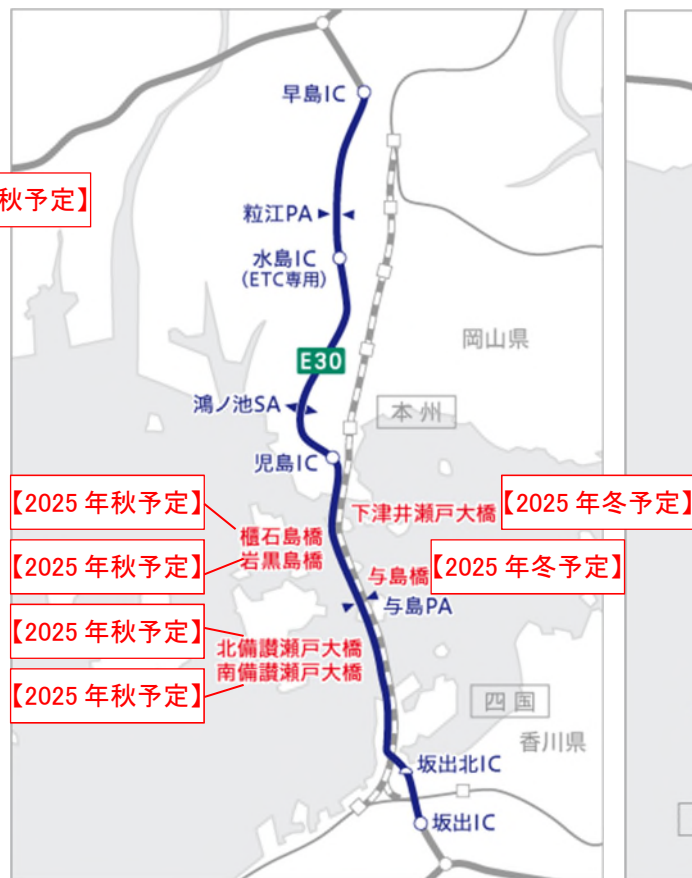
橋梁用広スパン低位置道路照明の点灯イメージ

【別添資料①点灯開始の予定時期】 注:工事状況等により点灯開始の予定時期は変更となる可能性があります。

○E76 西瀬戸自動車道(瀬戸内しまなみ海道)



○E30 瀬戸中央自動車道



○E28 神戸淡路鳴門自動車道



注:生口橋、大三島橋及び伯方・大島大橋については橋梁用広スパン低位置道路照明の整備対象外です。

世界最長の「橋梁用広スパン低位置道路照明」を実現

走行支援機能を実装した新たな橋梁用広スパン低位置道路照明

特許出願中

1. 世界最長30mの広スパン照射を実現！（従来6～20m⇒開発26～30m）
2. 特殊LEDレンズと完全プロビーム照明で視認性向上！
3. 悪天候時でも最適照度、視線誘導照明、外側線照明により走行支援！
4. 照明ポールなし、落下リスクなし、安全性向上！
5. 点検・保守コスト99%削減^(※1)！

従来ポール照明：29,312千円/年→橋梁用低位置照明：312千円/年（点検に係る交通規制、労務費及び機械経費の比較）

6. 電力量64%削減^(※2)、カーボンニュートラルにも大きく貢献！

従来LED照明：10,709千円/年→橋梁用低位置照明：3,837千円/年（プロビーム照明で比較 中国電力（株） 高圧TOUA）

（※1）点検・保守コストは、電力量以外の、交通規制、高所作業車、労務費を含む。

（※2）電力量約64%削減：（特殊LEDレンズによる効率化）

従来のポール照明



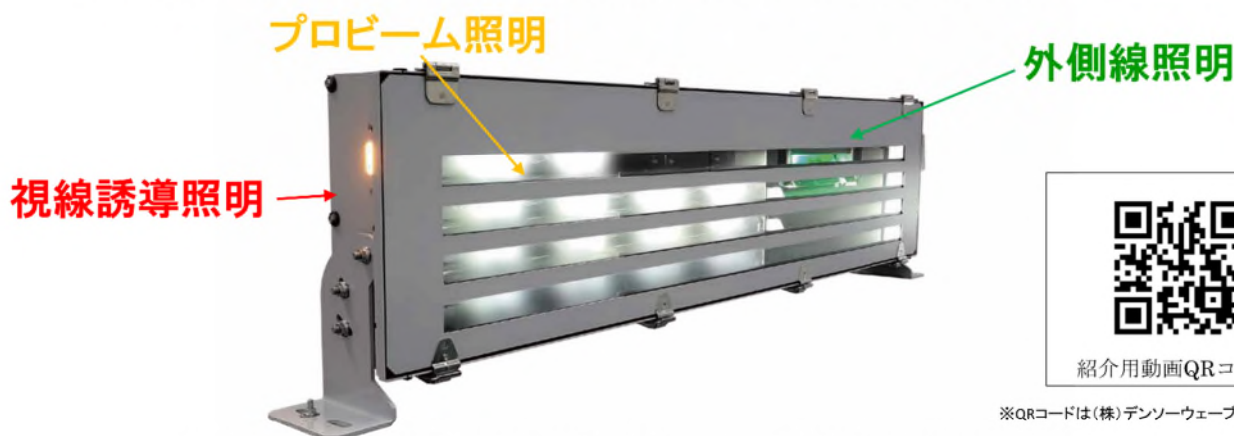
（注）照明方法を表現したもので実際の画像とは異なる。

橋梁用広スパン低位置道路照明



（注）照明方法を表現したもので実際の画像とは異なる。

ポール照明を低位置照明にすることにより、落下リスクがなくなります。



紹介用動画QRコード

※QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

橋梁用広スパン低位置道路照明 ⇒ 橋梁の高欄上に固定

（共同開発）本州四国連絡高速道路（株）/本四高速道路ブリッジエンジニア（株）/岩崎電気（株）

Bridge:Communication & Technology